

分担研究報告書

疾病による生産性低下と損失の分担構造の解明
疾病シナリオを用いた分析

研究協力者 梶木繁之
研究分担者 林田賢史

厚生労働科学研究費補助金

(労働者の健康状態及び産業保健活動が労働生産性に及ぼす影響に関する研究)
総合研究報告書(分担研究報告書)

疾病による生産性低下と損失の分担構造の解明
疾病シナリオを用いた分析

研究協力者 梶木繁之(産業医科大学 産業生態科学研究所産業保健経営学 講師)
研究分担者 林田賢史(産業医科大学 産業保健学部 教授)

研究要旨

疾病による労働者の生産性の低下は、absenteesm および presenteesm による労働機会の損失で評価されることが一般的であり、医療費を加えることによって、疾病による経済的損失が測定される。このような損失は、疾病の種類や経過など、様々な要因によって、損失の負担者が異なるはずであるが、負担構造についてはこれまで十分に検討されていない。

本研究は、就業年齢において一般的に罹患し労働者や企業、医療保険者等に相応の経済的損失を発生させる疾患・病態のシナリオを作成し、それを分析することによって、負担構造を明らかにすることを目的としていた。

疾病の種類によって、経済的損失の状況に影響を及ぼす要素を抽出した後、それらの要素を効率よく網羅的に含み、負担関係全体が把握できるようなシナリオを作成した。それぞれのシナリオについて、我が国の一般的な損失の負担構造の表現を試みた。

研究協力者

池水成太郎 (産業医科大学 医学部)
乗宗 麻衣 (産業医科大学 医学部)
清水 太一 (産業医科大学 医学部)
宮部 大輔 (産業医科大学 医学部)

A.目的

疾病による労働者の生産性の低下は、absenteesm および presenteesm による労働機会の損失で評価されることが一般的である。また、これらの指標に医療費を加えることによって、疾病による経済的損失が測定される。このような測定は、社会という立場から負担全体を一まとめにすることが基本となっているが、実際には企業、健保、本人といったように負担者が異

なる。

企業が労働者の健康を保持増進するための施策によって、一定期間後に経済的損失の低減が期待されるのであれば、健康管理への支出は投資と表現することができる。その際、企業にとっての投資効果は、狭義に企業の損失低減効果を用いるべきである。経済的損失を考える際には、疾病の種類や経過など、様々な要因によって負担者が異なるはずであるが、これまで負担

構造については十分に検討されていない。

本研究は、就業年齢において一般的に罹患し労働者や企業、医療保険者等に相応の経済的損失を発生させる疾患・病態のシナリオを作成し、それを分析することによって、負担構造を明らかにすることを目的としている。また、平成 26 年度以降、同じシナリオを用いて諸外国の情報を収集して、我が国の負担構造の特徴を明らかにしていく予定である。

B. 方法

1) 労働者の疾病と経済的損失に関連する要素の抽出

産業医経験のある 3 名の医師に対してインタビュー調査を行い、その内容から経済的損失に関連する要素を抽出した。次に、それらの要素を KJ 法を用いてカテゴリー化した上で、カテゴリーに名称を付与した。

2) 疾病毎のシナリオの作成

今後、国際比較を行うことを前提とした場合に、分析に用いるシナリオ数は 20 以下にすることが妥当と考えられた。また、一つのシナリオが複数のカテゴリーと関連するとともに、シナリオ群全体でカテゴリーを網羅的に含んでいる必要があった。負担構造を推定する際、回答者が記入しやすいよう具体的かつ簡潔な表現である必要があった。そこで、本研究の分担研究者および研究協力者が上記の点に留意し、シナリオの作成を行った。

そのうえで、研究代表者および研究

分担者が参加する研究班会議において、シナリオに基づき記入者が容易に回答できるか、経済的損失を検討するための情報が含まれているか、という 2 つの基準で、表現の確認を行い、必要に応じて修正を加えてシナリオを完成させた。

3) シナリオごとの経済的負担の分析

シナリオごとの経済的負担の分析については、本研究の分担研究者および研究協力者が行った。病気休業の制度に関わる法令の規定が存在しないため、企業間のバラツキが大きい我が国の状況を考え、想定される一般的な大企業の制度を基本に、中小企業等で想定される制度も追加した内容を記載した。

C. 結果

1) 労働者の疾病と経済的損失に関連する要素

労働者の疾病と経済的損失に関連する要素は、「疾病そのものの要素」と「企業や社会保障・医療保険制度の要素」に大きく分けられた(大分類)。このうち、「疾病そのものの要素」は、「発症要因：個人・内因性」、「発症要因：環境・外因性」、「予防」、「症状」、「精密検査」、「治療」、「病気の発症と推移」、「周囲への影響」の 8 つの中分類と 29 の小分類に整理された(表 1)。

一方、「企業や社会保障・医療保険制度等の要素」は、「休業の種類」、「休業中の補償」、「労災補償制度」、「社会保障制度」、「医療保険制度」の 5 つの中分類と 12 の小分類に整理された

(表2)

2) 疾病毎のシナリオの作成

シナリオの対象となった疾患または病態は、「腰痛」、「片頭痛」、「風邪(感冒)」、「虫歯(齲歯)」、「インフルエンザ」、「妊娠合併症(妊娠中毒症)」、「花粉症」、「月経前症候群」、「皮膚炎」、「気管支喘息」、「うつ病」、「睡眠時無呼吸症候群」、「失明(糖尿病由来)」、「人工透析(IgA腎症由来)」、「型糖尿病」、「高血圧」、「急性心筋梗塞」、「脳卒中(脳梗塞)」、「乳がん」、「大腸がん」であり、各疾患のシナリオの記述は、添付1のとおりである。

表3に、作成したシナリオと「疾病そのものの要素」との関係を示す。20のシナリオ全体で経済的損失に関連する要素を概ね包含していることが確認された。

3) シナリオごとの経済的負担構造の分析

シナリオごとの経済的負担の分析を表4に示した。

D. 考察

我が国の労働基準法令には、労働者の病気休業の規定が存在しないため、企業によってさまざまな制度が存在する。また、一般的に中小企業に比べて大企業の方が、休職期間の長さやその期間中の給与補てんが手厚いなどの特徴が存在する。しかし、労働者の健康への生産性への影響が、absenteesm や presenteesm による機会損失が基本となっていることを考えると、その負担構造全体の特徴を

整理することが重要となる。また、同時に諸外国の構造と比較することによって、その特徴をより深く理解することができる。

疾病休業のような複雑で多様な制度を比較する際、制度そのものの記述では実際の運用を表現することが困難なため、今回はシナリオを用いた分析方法によって構造を明らかにしようとした。今年度の成果物の段階では、国内においての内容妥当性の検証が終わっていないこと、諸外国との比較が終了していないため特徴を明確にすることが困難である。平成26年度以降の研究において、今回作成したシナリオ群を用いて、負担構造をより詳細に分析していく予定である。

E. 結論

労働者の健康状態(疾病の罹患状態を含む)と経済的損失の負担構造を推定するためのシナリオを完成するとともに、我が国の負担構造(案)を作成した。